

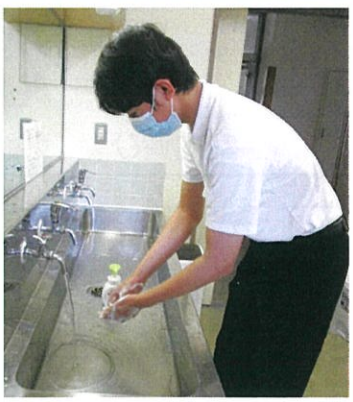
# せんだん



富山県立  
砺波学園  
砺波市福山1164

〈発行責任者〉  
松本吉永

<http://www.pref.toyama.jp/branches/1250/toppage.htm>



## 待っ つ力

園長 松本吉永



目映いばかりの木々の緑と麗らかな鳥のさえずりに迎えられ、砺波学園での十年ぶりの勤務が始まりました。しかしながら、四月早々より、富山アラートが発令され、県全体の警戒レベルのステージが2に引き上げられる等、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからない中、学園においても「ウイルスを持ち込まない、広げない」との方針のもと、十年前には当たり前であった、子ども達の成長を育むために保護者の方や学校、地域のボランティアの皆様と大切に営んできた様々な交流行事や余暇体験などが中止や延期となっている状況に愕然としました。と同時に、一方で、子ども達は相当の不安やストレスを日々抱えながら、一方で、子ども達は相当の不安やストレスを日々抱えながら、また、職員も感染拡大への危機感を日々抱えながら、コロナ疲れの状態となっているのではないかと懸念も合わせて抱きました。

ところが、子ども達がコロナ禍という「危機」を、「危険」と「機会」の両方に上手に整理して、マスクの着用や手洗い、うがいの励行などの「危険」への対応をきちんと行いつつ、職員とともに安全で安心な学園としていくために何ができるのかを考え、スポーツや散歩等の活動時間が重なる密にならないよう、グループごとに活動時間をシエアしたり、時間差をつけてグループが交代で食堂に入り、正面を向き合わないように気を付けながら食事をしたり等、新しい生活様式を身に付ける「機会」にできている様子を眼前にすることで、そのような懸念は一掃されました。

このように、子ども達は、コロナ禍真っ只中にいながらも、ワクチン接種等により感染拡大防止が実現し、そのコロナ禍が収束に向かうという、来るべき時に備えて、着実に力を蓄えてきている、言い換えれば「待っつ力」をしっかりと高めてきていることに、頼もしさと力強さを感じざるを得ません。そして私を始めとして各職員も、子ども達と同様にこの「待っつ力」をより一層高め、「アフターコロナ」の学園をこんな風にしていきたいという意識を持ちながら、日々の支援にあたりたいと考えておりますので、今後とも皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

つばさ寮では、前年度に引き続き、マスク着用、手洗い、除菌作業（児童も協力してくれています）等の新型コロナウイルス感染対策に取り組んでいます。その中で、児童は新しい生活様式を取り入れながら、元気に過ごしています。



園芸活動（いも掘り）



手洗い教室

つばさ寮での支援



室内遊び



JR利用体験

つばさ寮では男女に分かれ、食事に時間差をつけたり、グループごとの活動（スポーツや散歩等）も別々に行い、活動が重ならないようにしています。



野外活動（柿の収穫）



買い物体験

行事を中止するのではなく、工夫して行事を行っています。夏季特別体験も、集団で行くのではなく、少人数のグループで行きました。杉の子祭も、規模を縮小したミニ杉の子祭としましたが、児童は準備からよく手伝ってくれ、楽しんでいる様子でした。



ミニ杉の子祭

昨年度はマスク着用等、慣れない日常に戸惑う児童もいましたが、**だんだん**習慣となってきました。今では、新しい生活様式を日常生活の一部として受け入れ、さまざまな工夫をしながら元気に生活しています。



登校



清掃

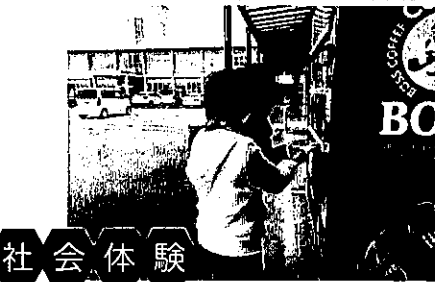
おがほ寮での支援



買い物体験

行事は、学園内で実施できる事を考え、園内でお買い物体験をしたり、近くへ散歩、社会体験をしました。

中庭散策&お散歩



社会体験

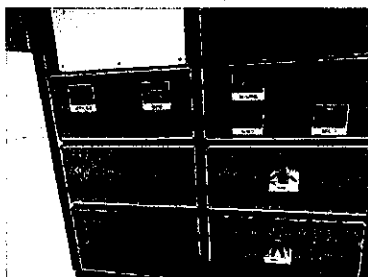
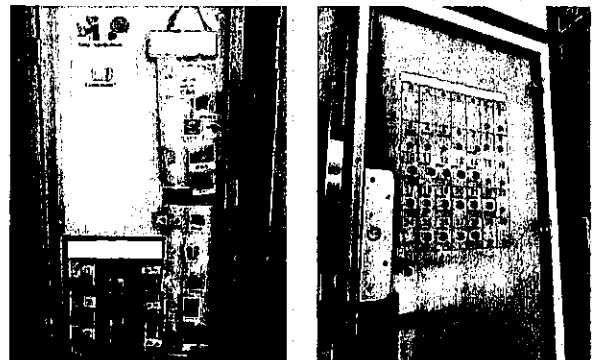
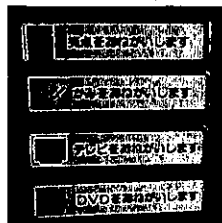


支援ツールを紹介します



手洗いうがいや、マスク着用を促しています。

各居室にスケジュールボードを設置し、月毎や1日の流れが分かる様に掲示しています。

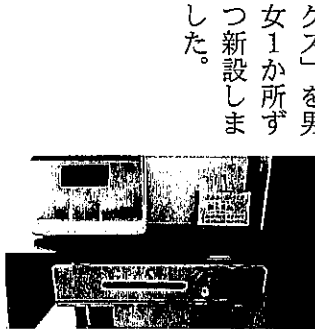


どこに物があるのか分かるようにまた、何をしたいのか、自分の意見が伝えられるように写真や絵カードを掲示しています。

# ❀ 砺波学園 ふれあいボックスの 寮内設置について



ふれあいボックスの説明



砺波学園には児童玄関外と正面玄関内にふれあいボックスが設置されていますが、入所児童が利用しにくいという課題がありました。児童が悩み、苦情、意見等を大人に相談しやすく、主体的かつ安心して生活を送ることができるよう、令和3年3月、つばさ寮内に「児童用ふれあいボックス」を男女1か所ずつ新設しました。

**ふれあいボックス用 記入用紙**

頁 目

(1) あなたの名前を書きなさい。書きたくなければ、書かなくてもいいです。

(2) 紙に紙を聞いてもらいたいですか。○をつけてください。

① 学園の先生 ( ) (先生)

② 学園以外の大人 ( )

(3) 困ったこと、相談したいことを書いてください。(学園、学校、家のことなど)

書いたら、ふれあいボックスの中に入れてください。

文字の読み書きが苦手、自分の気持ちを表現することが苦手等、様々な児童が入所しているため、どの児童もふれあいボックスを利用しやすくなるように以下のよう工夫を行いました。

- ・ 他児に知られないように、人目につきにくい場所にボックスを設置する。
- ・ 匿名でも投書可能。
- ・ 文字を書けない児童は記名のみ投書や口頭での申し出でも可能。(権利擁護担当職員が聞き取りを行う)

どの紙に書いてもいいが、記入用紙での投書可能。

おなじ施設で暮らす人から、いやなことをされたら

×のからだをさわられるよう  
脅かされた

聞いたたり  
けたりされる

○のからだをさわられて  
イヤな気持ち

話を聞いてくれる

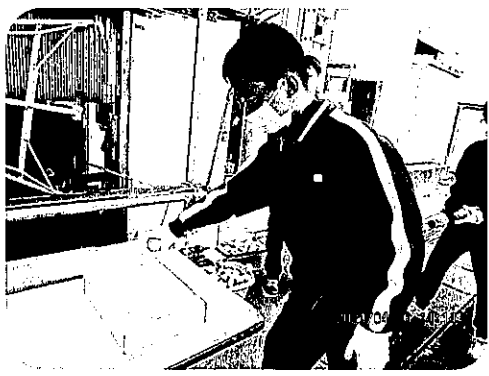
ほかにもこんな人が話を聞いてくれたり、いっしょに遊んでくれます。

先生 学園の先生 学園の先生	保護者の先生 保護者の先生	先生 先生
----------------------	------------------	----------

ふれあいボックスを設置するにあたり、困った時の相談窓口とふれあいボックスの使い方について児童に説明する機会を作りました。はじめに、子ども達一人一人は大切な存在であり、その権利(生きる権利、育つ権利、参加する権利、守られる権利等)は守られることを伝えると、子ども達は真剣に話を聞き、照れ笑いも見られました。その上で困ったことや不安なことがあれば、自分の伝えやすい方法で周りの大人に助けを求めてほしいと伝えました。説明した内容は寮内に掲示し、児童がいつ

令和3年5月現在で計4件の投稿があり、あらかじめ作成していた対応フローチャートに従い、児童の悩みや意見に対して迅速に対応できるよう心がけています。今後、児童の意見も聞きながらさらに使いやすくなるように改善し、児童らの思いを受け止め、解決に向けて役立つボックスにしていきたいと考えています。

(池田 記)



でも見られるようになっていきます。また、子ども会役員がふれあいボックスのペイントを行い、無地だった箱は子ども達が愛着を持てるカラフルな箱に変身しました。

# 保護者会について

保護者会会長

嶋尾 達 郎

本年度の会長に選出された嶋尾です。

砺波学園にお世話になりましたが、十一年度となりましたが、保護者会への参加は全くとできていませんでした。ですので、会長となつた今も何をどうしていいのか全く分からない状態です。先生方や保護者の方々のお力を借りながら、任期終了まで頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

前年度から続くコロナ禍により、行事等かなり制限されており、子ども達は物足りない日々を過ごしているのかなと思います。また、先生方、保護者の方にとっても気の許せない日々を過ごされていると思います。

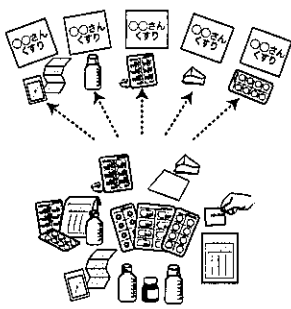
このような状況で保護者会の活動も制限されていますので、なかなか皆様とお顔を合わせることも少ないと思いますが、何かあればお力添えのほどよろしくお願ひいたします。

# 縁の下の力持ち！

齋藤さんには、週2回、児童達が服薬している薬の整理名前付けや薬の配薬シート貼りをしていただいています。服薬はつい忘れたり間違えたりしがちです。学園には服薬している児童も多く、変更することも多いため、配薬シートを作っております。朝、夜、就寝時のシートに、各児童のスペースがあつて各自の薬を張り付けてあり、学校のある日は、学校用のシートもあります。

齋藤さん、保健師、各寮でのチェックと三重の点検をして、間違えないようにしています。

多くの児童の服薬の配薬複雑で分からなくなりそうですが、齋藤さんが準備してくださるおかげで、スムーズに出来ています。いつもありがとうございます！



# 子ども会会長選挙

先日、子ども会選挙が行われました。コロナウイルス感染対策のため、立会演説（告示、演説、応援）は、ビデオカメラで撮り、DVDでそれぞれのスペースで見ました。



楽しい学園になるよう新会長さんも頑張っています。

# 学園の苦情解決及び事故対応の状況について

令和3年2月に第三者委員の方との懇談会を実施しました。苦情及び事故状況と対応・再発防止について報告いたしました。コロナウイルス感染対策についての質問もあり、学園の取り組みについてもお伝えし、話し合いをいたしました。

事故	育成班	2件
	療育班	12件
	計	14件
苦情	2件	

(令和2年6月～令和3年5月末)



# 善意の窓 (敬称略)

## ◎寄贈

- ・社会福祉法人くるみ
- ・砺波市更生保護女性会
- ・貝淵悦子
- ・富山県善意銀行
- ・カナカン株式会社
- ・澤田グループ
- ・せんだん
- ・齋藤真知子
- ・株式会社グラウジーズ

## ◎ボランティア活動

- ・庄東地区民生委員・児童委員協議会（除草）
- ・せんだん（縫い物・除草）
- ・富山県立砺波工業高校吹奏楽部（演奏）
- ・貝淵悦子（ボールペン習字）

※新型コロナウイルス感染予防の為、ボランティア活動の受け入れを一時停止してしました。

※杉の子祭は、開催規模を縮小した為、ボランティアの受け入れを行いませんでした。

